

オーストラリア 州政府系機関

Voltage Fusion は、大量の機密データを検出し、
PCI 認定対応を実現します。



PCI レベル 1 認定のための クレジットカード評価

同州政府機関は、数多くの政府機関や市民とやり取りしています。これらのやり取りには、クレジットカード情報などの個人情報が含まれることも少なくありません。機密データの管理については、クレジットカード業界のデータセキュリティ基準 (PCI DSS) によって明確なルールが定められています。PCI DSS は、クレジットカードの取引量に基づいて複数のレベルに分かれています。同州政府機関は、クレジットカードの取引量が年間 600 万件を超えたことにより、レベル 2 からレベル 1 に移行することになりました。同政府機関のクレジットカードクリーンアッププロジェクト担当マネージャーは次のように説明しています。「レベル 2 に準拠するためには主に自己評価レポートを提出していましたが、レベル 1 に準拠するためには、認定査定員による外部監査と、認定なスキャン担当ベンダーによる四半期

「複数のリポジトリに分散する機密データをすべて特定できるソリューションとして、OpenText™ Voltage™ Fusion を推奨しました。このデータディスカバリソリューションにより、多数のデータサイロにまたがる大規模なデータ環境を可視化できます」

Carl Duncan 氏
ジェネラルマネージャー
WyldLynx

に 1 回のネットワークスキャンを受ける必要があります。レベル 1 の認定を取得するためには、データをより明確に可視化して、監査担当者に証拠を提供する必要があります。当機関のデータの主な保存先は、Microsoft 365 Outlook の共有メールボックス、ネットワークドライブ、そして電子文書・記録管理システム (EDMRS) として活用している OpenText™ Content Manager です」

同機関がレベル 2 からレベル 1 に移行したのは、ちょうどオーストラリアでセキュリティ侵害に対する警戒が高まっている時期でした。オーストラリアの約 3 分の 2 の成人に影響を及ぼす大規模なデータ侵害事件が数件発生したのです。国民に直接影響を及ぼすようなセキュリティ侵害が発生すると、セキュリティ侵害に対する国民の意識が高まります。その結果、組織は綿密に調査され、リスクを評価されることとなります。

Voltage Fusion により、2 億豪ドル 相当の機密データを特定

そこで、同機関は、OpenText Cybersecurity の信頼できるマネージドセキュリティサービスプロバイダー (MSSP) の WyldLynx に支援を求めました。WyldLynx のジェネラルマネージャーである Carl Duncan 氏は次のように述べています。「複数のリポジトリに分散する機密データをすべて特定できるソリューションとして、OpenText の Voltage Fusion を推奨しました。このデータディスカバリソリューションにより、多数のデータサイロにまたがる大規模なデータ環境を可視化できます。このお客様はすでに Content

概要

業種

政府/行政機関

所在地

オーストラリア

課題

膨大かつ多様な IT 環境を評価して、機密データを特定し、PCI DSS 加盟店レベル 1 認定に備える

製品とサービス

Voltage Fusion

成功ポイント

- 32,000 件以上のクレジットカード情報と 110,000 件以上のその他の機密データポイントを検出
- 情報に基づく意思決定を行い、PCI DSS 加盟店レベル 1 認定を取得するための可視性を獲得
- AI を活用した自動化により、最大 89% のデータディスカバリ精度を達成

「Voltage Fusion には、AI 活用の OpenText IDOL が搭載されています。OpenText IDOL は、優れた実績を誇る、世界的に有名なデータディスカバリ製品です。当社の専門知識に基づいて Voltage Fusion を実装することで、データディスカバリプロセスをサポートできるとお客様は確信していました」

Carl Duncan 氏
ジェネラルマネージャー
WyldLynx

お問い合わせ

www.opentext.com



Manager を使用しており、OpenText のソリューションに高い信頼を置いていました。Voltage Fusion には、AI 活用の OpenText™ IDOL が搭載されています。OpenText™ IDOL は、優れた実績を誇る、世界的に有名なデータディスカバリ製品です。当社の専門知識に基づいて Voltage Fusion を実装することで、データディスカバリプロセスをサポートできるとお客様は確信していました」

目標は、すべてのパターンのクレジットカードを見つけて、現在有効なクレジットカードに関連するデータをすべて削除することで、PCI 認定査定員にコンプライアンスを実証することでした。「クライアントは、それほど多くの機密データが見つかるとは思っていませんでした」と Duncan 氏は言います。「当社は最初、見つかった機密データを手作業で管理しようと考えていたくらいです。しかし予想に反して、Voltage Fusion でスキャンを開始して30分もしないうちに、電子メールシステムやネットワークドライブ内に大量のクレジットカードデータが見つかりました。スキャン作業に Content Manager を使うと、さらに多くのデータが見つかり、最終的には32,000件以上のクレジットカードデータが見つかりました」

Voltage Fusion で検出できるのはクレジットカードデータだけではありません。大量のクレジットカードデータが見つかった事実により、Voltage Fusion を使用してその他の個人情報やシステムに残されていないかを調べることにしました。目的は、コンプライアンス全体に悪影響を及ぼす可能

性のあるリスク項目を報告することでした。スキャンの結果、クレジットカードデータに加えて、90,000件以上のパスポート番号、7,000件近くの運転免許証番号、そして12,000件近くの医療ID番号が見つかりました。オーストラリアでの大規模セキュリティ侵害事件を受けて、BDOはダークWeb上でデータがいくらか取引されているのかについて、調査を委託しました*。この調査の結果、クレジットカード情報は38豪ドル、運転免許証は526豪ドル、パスポートは2,255豪ドルで取引されていることが明らかになりました。つまり、本お客様の場合、データが悪意のある人の手に渡った場合、そのデータには2億豪ドル以上の価値があることとなります。

データディスカバリ精度 89% を誇る、実績と信頼のソリューション

WyldLynx は、お客様のサイバーセキュリティリスク評価レポートを作成しました。このプロジェクトは、PCI へのコンプライアンスを確保するための財務重視の取り組みから、より広範かつ継続的なデータディスカバリイニシアチブへと発展しました。データ問題がお客様の利害関係者に明らかになった今、この問題をどのように管理するか決定する必要があります。データの量は明らかに手作業で管理できる水準を超えており、お客様はシステム内の機密データを修正、削除、廃棄、保護、暗号化するためのソリューションとして、さまざまな選択肢 (他の Open-

Text Cybersecurity ソリューションも含む) を検討しています。

同機関では、機密データを管理する上で今後も Voltage Fusion が重要な役割を果たすこととなります。Duncan 氏は、他の多くのお客様とも同様のプロジェクトを進めており、市場における Voltage Fusion の独自性について次のように述べています。「お客様の多くが Content Manager を主要データリポジトリとして使用していますが、その Content Manager のデータを効果的にスキャンして検出できる唯一のソリューションが Voltage Fusion なのです。クレジットカード情報の検出に他のツールを使用したお客様もいましたが、アラートの90%近くが誤検知で、膨大な時間を無駄にしたといいます。一方、Voltage Fusion は最大89%の検出精度を誇ります。そのため、お客様のデータディスカバリをサポートする、実績のある信頼できるソリューションとしての地位を確立しています」

詳細はこちら：

<https://events.opentext.com/privacy-cyberres/partners-wyldLynx>

*BDO：『Australian Scam Culture Report』 — 6月四半期 — 2023年8月21日